

正

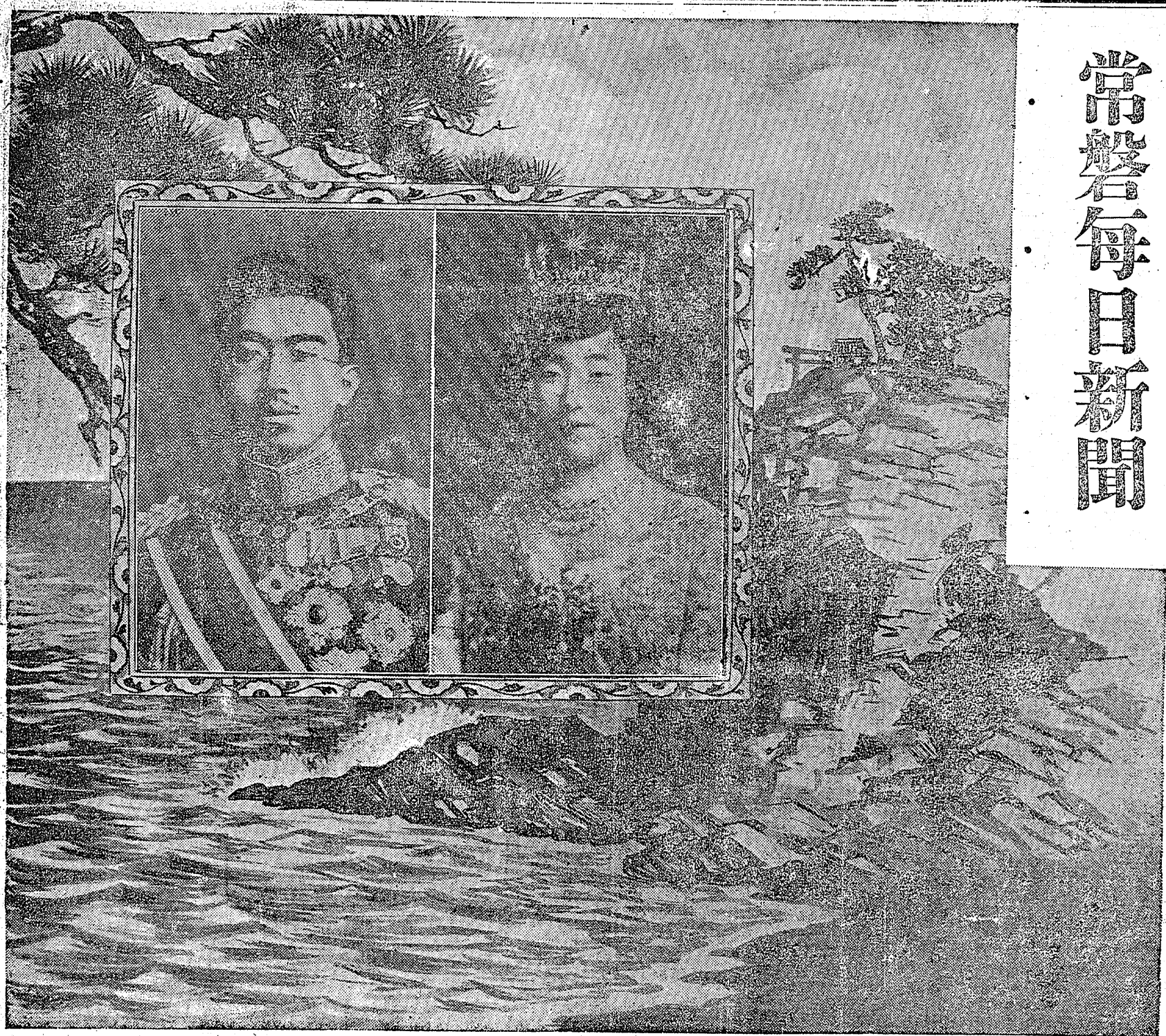
日本新聞社

田會議員

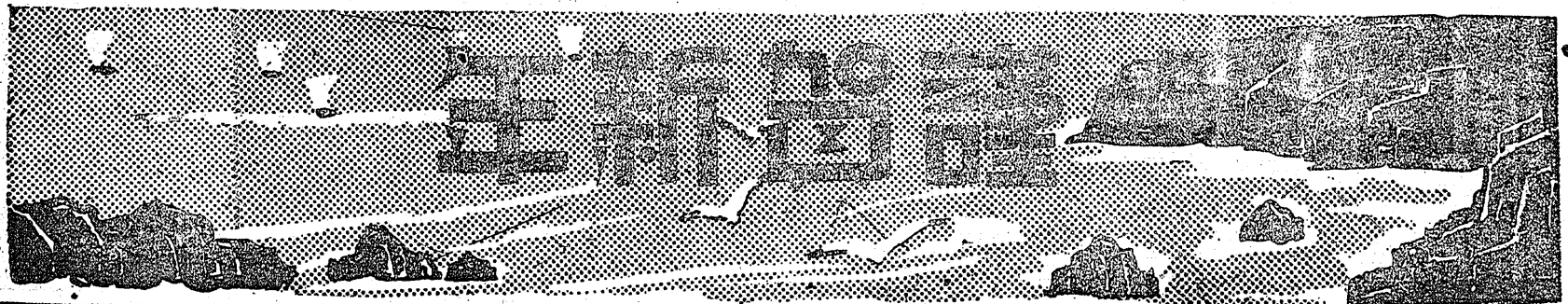
高岡唯良

草野村

# 常磐每日新聞



謹んで聖壽の萬歳を祈念し奉る



合 元造釀

鹽屋  
山崎合名會社

福島縣平町土橋  
電話 營業部 一〇番  
釀造工場 二七番

福島縣石城郡内郷村

磐城炭礦株式會社

鑛業所

石城郡湯本町

入山探炭株式會社

鑛務所

植田水力電氣株式會社

社長 金成通

質貨  
債券  
替兩

多田井商店

平町大工町  
電話 八六九番

發行所 常磐每日新聞社  
發行兼編輯人 印刷人 嶋崎文治  
本社 同番地(電話六三〇番)  
印刷所 常磐每日印刷所





新春の朝

# 身心を鞭達して 平町の発展を圖れ

## 年頭に際して…… 伏見平町長の感想

我が敬愛する町民各位と共に曙光を見てここに新春を  
に昭和五年を迎ふ事を得た迎ふ事を得るは眞に慶賀に  
るは小職の最も喜びとする堪へざる所である、金解禁  
所である、静かに昨年を回  
顧すれば内外の事端甚だ繁  
く

**国民の** 記憶すべき  
事象が少なくない上は皇女  
殿下の御誕生あらせられ尊  
嚴なる皇室に一段の御繁榮  
を拜し次いで神宮式年遷宮  
式の御執行ありて国民一致  
皇祖拜崇の信念を高め又國  
にありては内閣の更迭地方  
にありては町村會議員の總  
選挙等あり殊に大書すべき  
は我が國民經濟上多年の懸  
案たりし

**金解禁** 問題も解決  
町民各位の自治精神に訴へ

住民の福利増進に努むる事  
を得た是れ一に

**愛町の** 念に富める  
町民各位の奮勵協力賜に  
して深く感銘する所である  
國運の發展につれて國事  
に多く而して之等の事務は  
専ら地方町村の施設に相俟  
つて初めて國家の進運に據  
る事を得るもの又益々多き  
を加へんとするの趨勢にあ  
るを以て國民たる者

**謹賀新年**  
昭和五年一月一日  
常磐毎日新聞社

川崎 文治  
鈴木 實  
緑川 松太郎  
西丸 政男  
外従業員一同

**奉公の** 誠を致し自  
治の精神を發揮して時代の  
要望に添はん事を期せねば

ならんと思ふ、不肖才足ら  
ず徳乏しく日夜つとめて唯  
及ばざらん事を恐るもので  
ある、希はくば町民各位年  
あらたまると共に更に身心  
を鞭達して各々其の職につ  
とめ

## 押し寄せたり

# 賀状の波

## 到着は大激増 引請は見込通

「新年お芽出度ふ」とドサドサと九分の増加を示して居る  
り投げ出される年賀状の束が此外  
は何んと云つても止月情緒  
を出させる最上のものだ、  
平郵便局にては最初相當  
深刻な 不景氣の影  
響から減少は免れぬとして  
自然増加や、今議會の解  
散を見越し總選挙準備のも  
のがあるから結局は五分減  
位への處で落付くものと睨  
んで居たが流石に先見の明  
あり特別取扱期間の去る廿  
日から廿九日午後十二時迄  
平局で 引請けた數  
は廿八萬六千八百九十七通  
で前年の卅萬二千八百四十  
七通に比較するとカツキリ  
五分減、秋山主事がアゴを  
なでながら「如何でござん  
す」の御自慢も御尤もであ  
る、而して元日の朝早く平  
町に配達される年賀状は十  
六萬五千二百廿八通で前年  
の十六萬五千九百五十五通に較新年の特種の犯罪として昨

**附近の** 局に回送配  
達さるべく全国各地の局が  
ら平局に到着したのは六十  
萬二千四百七十一通で前年  
の卅九萬四千三百九十三通  
に比し五割二分の大激増で  
ある、是等を思ひ合すれば  
お屠蘇に酔ひ歌留多や  
追羽根 に興じて居  
るお正月も郵便局員にとつ  
ては一年一度の最も忙しい  
時で配達人の苦勞は並大程  
なものではなく如何に努力  
するも正月三日間は午前一  
回丈の配達しか出来ぬとは  
無理ならぬ話である

## 初笑ひ



## 朝の内は曇るも 次第に正月日和

### 小名濱測候所の觀測

新年を迎えるにあつて氣から朝鮮は雨或ひは雪模様  
になるのは正月元旦のお天で北陸奥羽地方北海道樺太  
氣、美しく着飾つて歩くでは概して天氣がよい、卅一  
あらところの女性たちはな日は小雪模様だがあけて元  
ほのことお天氣のことが心且からは朝の内は曇るも次  
配でならない、元日にはと  
第に正月日和となるでせう

## 餅の扱ひ方

堅くなつたものは、二時  
開程鹽水に漬けておいて  
から焼けば、軟くなつて  
美味しく食べられる  
餅のカビを防ぐ法は、餅  
を藏つておく箱の中には酒  
粕を二百多位置も木綿袋  
に入れておけば、いつま  
で経つてもカビが生えず  
固くならず長く美味しく  
食べられます  
微びた餅を新しくするに  
は、一晝夜水に浸けボロ  
ボロになつた時よくよく  
水洗ひして微を流し去り  
蒸籠に入れて十分間位蒸  
しますと、搗きたての様  
にホヤ／＼した餅が得ら  
れます  
餅をたやすく切る法は、  
生の大根を用意して、一  
度餅を切つたら大根を切  
るといふ工合にします  
小名濱測候所に伺ひをたて  
ると御安心なさい「良い天  
氣になりませう」と左の如  
く語つた  
低氣壓は千島北方と四國沖  
滿洲方面にあり高氣壓は遠  
海洲北支那にあつて南日本

## 特別大興行

マキノ現代劇 津村博主演  
渡満 茂一ヤイ  
美談 浦路条子助演  
岡島艶子  
大帝キネ  
市川百々之助主演  
黒駒の勝藏  
久野あかね助演  
大阪日日新聞連載  
戀のジャズ  
高津愛子 八島京子主演  
マキノ超特作  
吉良和久半太夫  
浪士松浦築枝主演  
南光明  
料金普通  
晝夜公開  
有聲座

家具  
漆器  
陶器  
丸はん

木村

萬屋與一

度邊買一

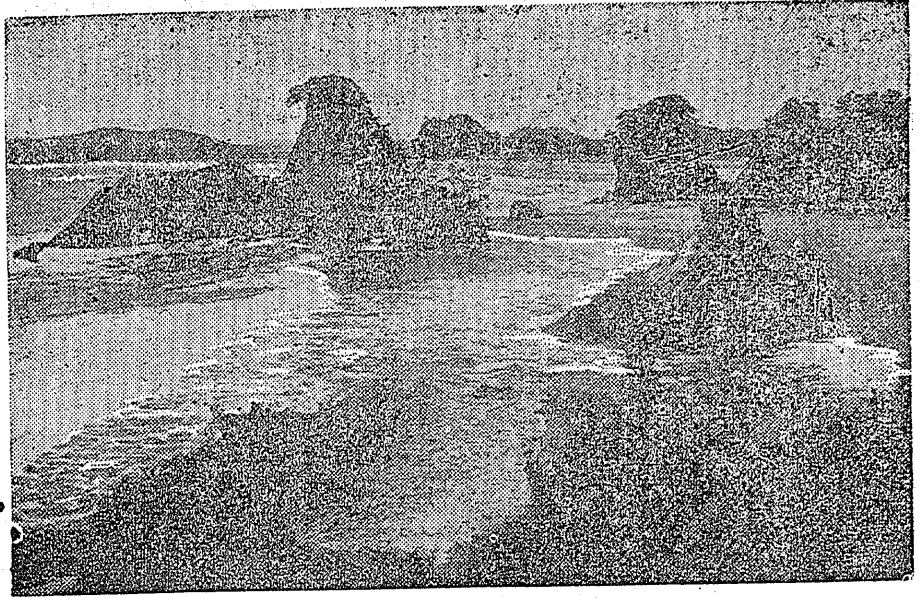
ベニや小鳥店

平町

平町



<p>土木建築 請負業 <b>江口忠一</b> 平町搔毬小路</p>	<p>平町 <b>消防組幹部一同</b></p>	<p>村會議員 <b>佐藤三平</b> 石城那内郷村</p>	<p><b>高橋亀松</b> 福島縣平町白銀町 電話六三八番</p>	<p><b>加藤丈夫營業所</b> 貸家地所代理店部(平町字白銀町) 電話三三一番</p>	<p>土木建築 請負業 <b>荒川銀治</b> 電話九〇一番</p>
<p>帝キネ東北封切場 マキノ <b>有聲座</b> 小島三正 外館員一同</p>	<p><b>大和田豊吉</b></p>	<p>仁壽生命保險 平監督所長 <b>小野長吉</b></p>	<p><b>正木織物店</b> 平新町松ヶ岡公園下</p>	<p>喪中に付年末年始欠禮仕候 <b>上田外科醫院</b> 南町 電話一二九番</p>	<p>平看護婦會長 <b>清野清子</b> 平町 南町</p>
<p>荒物陶器卸商 <b>松崎長三郎</b> 新川町(電話二七二) 振替東京一五一九九</p>	<p><b>松本菓子問屋</b> 磐城平町四丁目 電話二一四番</p>	<p><b>關彰油店</b> 平町二丁目</p>	<p>二本松電氣株式會社 <b>小名濱支店</b> 福島縣石城郡 小名濱町</p>	<p><b>丸昌ホール</b> 吉田昌弘 電話四三九番</p>	<p>チルド車輪製作業 <b>武藏鐵工所</b> 主 遠藤 稻吉 平町搔毬小路十九 電話五一四番</p>
<p><b>平運輸株式會社</b> 平驛前</p>	<p><b>久野久</b> 平町三丁目 電話七五四番</p>	<p><b>草野染工場</b> 磐城平町鎌田町 電話四三八番</p>	<p><b>平町魚市場</b> 電話三一六番</p>	<p>貸切ト貨物乗合 <b>松崎自動車部</b> 電話 四四九番 八一三番</p>	<p>温泉旅館 <b>湯本料理屋組合</b></p>
<p>糸類玩具卸 <b>森下商店</b> まめや號 平町二丁目</p>	<p><b>平製菓株式會社</b> 小太郎町 電話三六〇番</p>	<p><b>昭和タクシー</b> 平驛前 電話三四三番</p>	<p><b>山家メリヤス店</b> 平町二丁目 電話六〇五番</p>	<p>御料理 天ぶら <b>越の家</b> 平町二丁目 電話三三〇番</p>	<p><b>鈴木齒科醫院</b> 平町南町成田山前</p>
<p>御料理 <b>照よし</b> 仲田町 電話八二一番</p>	<p>會津屋 <b>小原喜八</b> 一丁目 電話四六二番</p>	<p><b>谷屋吳服店</b> 平町新川町 電話四三七番</p>	<p>靴製造販賣 <b>仙臺屋靴店</b> 平町搔毬小路</p>	<p>靴製造販賣 <b>仙臺屋靴店</b> 平町搔毬小路</p>	<p>靴製造販賣 <b>仙臺屋靴店</b> 平町搔毬小路</p>



勅題「海邊巖」に就きて

巖に仰出された本年の御歌  
會始の勅題は「海邊巖」と申  
すのであつて、其の一般か  
らの詠進期限は舊臘十五日  
と定めさせられた事は例年  
の通りである。

四面海を環らし、所謂極東  
のH出國で、最も海に恵ま  
れたる國であるから、海に  
關する材料は到るところ豊  
富であることは言ふまでも  
ない。

恒例に由て本月の下旬あた  
りには、御發表の御事と拜  
察されるが本年の勅題に就  
て拜察するに御題は極めて  
清く明るい誠に壯大なる雄  
々しい意味が詠まれ得るこ  
とと思ふ。元來我が日本は

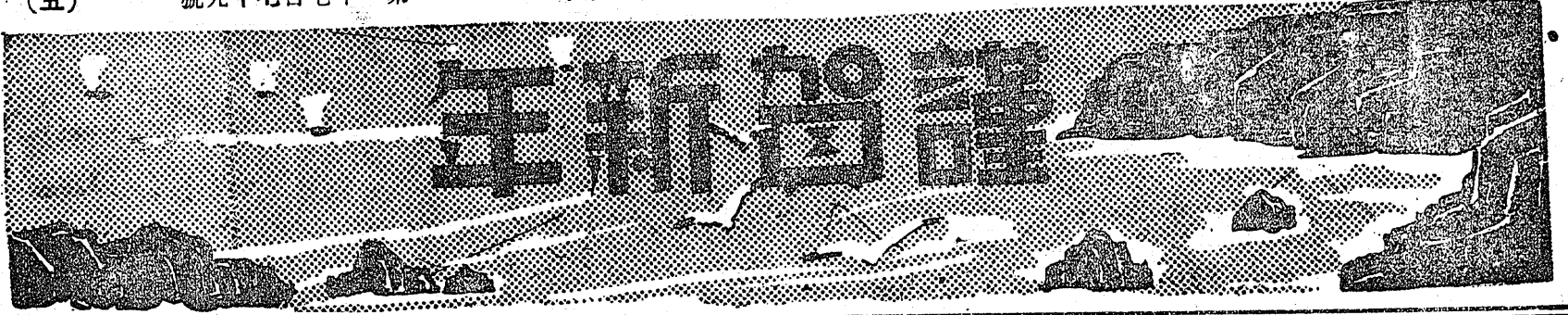
昭和二年には「海上風靜」と  
いふのであつた。  
戀歌ではあるが、かの小倉  
百人一首でお馴染みの「我  
が戀はしほひに見へぬ沖の  
石の人こそ知らねかほく間  
もなし」などは矢張り海の  
巖に寄せて詠んだ歌である  
明治大帝がかつて「海邊巖」  
と申す題であそばされたる  
御製に  
かぎりなき大海原の波の  
上に  
たなびき渡る春霞かな  
又同じ題にて昭憲皇太后の  
御歌に  
須磨の浦の藻鹽の煙立そ  
ひて  
いな山とほく霞む春か  
な  
と申すのがある。前記「海  
邊巖」の勅題に大正天皇の  
御製は  
汐風のからさきにたへて  
技ふりの  
みなたくましき磯の松  
原

と申すのであつた、海邊の  
巖といへば前申す如く海に  
恵まれた我國には制る所に  
巖に關する名勝に富んで居  
る、かの伊勢の二見、仙台  
の松島、土佐の龍串などは  
最も著名に知られてゐるの  
である。斯いふ譯で海邊の  
巖の材料としては相當豊富  
であるから従つてとりどりの  
歌が詠進されることでも有ら  
うと思はれる。(完)



活動 常設 <b>平 館</b> 松田卯次郎 電話四六六番	<b>山田忠太郎</b> 三丁目	<b>柏屋染物店</b> 阿部傳六 平町材木町	<b>清光堂書店</b> 關内彦太郎 平町二丁目廿九 電話一三三番	<b>廣瀬支店</b> 平町田町 電話五四番	<b>神谷齒科醫院</b> 神谷辰夫 古鍛冶町	浦鉾製造 仕出し <b>藤 市</b> 磐城平町二丁目 電話三百五番	酒類 <b>柏木支店</b> 平町長橋町 電話二四三番
<b>玉 よ し</b> 南町 電話四二六番	<b>小松崎洗張店</b> 二丁目 電話七七〇番	牛鳥 御料理 <b>石川亭</b> 田町 電話四三番	<b>中野 勇吉</b> 新川町	西洋支那料理 <b>平 樂 亭</b> 新川町	荷札、封筒、紙袋製造販賣 <b>小谷製袋店</b> 平町南町七六 電話一四七番	<b>遠藤帽子店</b> 平町二丁目	<b>和久井屋 漆器店</b> 磐城平町一丁目 電話四〇五番
<b>平サービス</b> ステーション 磐城國平町驛前 電話六一一番 自動車部分品並に附屬品 修繕是非當店へ願います	<b>野崎自動車部</b> 平 譯前通	新古道具、古銅鐵、製紙 原料、空箱類、諸屑物商 <b>清野彦四郎</b> 磐城平町長橋町 電話(セイヒロ)	雜貨商 <b>田卷隆一店</b> たまきや號 平町紺屋町 電話九〇八番	レストラン <b>イワキサロン</b> 森川泰一郎 平町字田町十七 電話三五二番	<b>新妻眼科醫院</b> 平町紺屋町	海産物乾物商 <b>仙臺屋商店</b> 平町長橋町 電話五四八番	喪中に付欠禮仕り候 <b>門 傳 清 吾</b> 平町搔槌小路 (電話二四番)
荒物雜貨卸小賣 <b>山田屋商店</b> 平町長橋町	<b>に 鶴屋商店</b> 平町四丁目 電話百四〇番	<b>安齋外科醫院</b> 平町田町 電話四七五番	諸機械商 <b>田邊忠藏商店</b> 平町白銀町十四 電話七六一番	洋酒罐詰海物商 醬油味噌醸造元 <b>關内 半平</b> 平町長橋町 電話一六〇番	<b>藤寅蒲鉾店</b> 平町一丁目 電話一四一番		

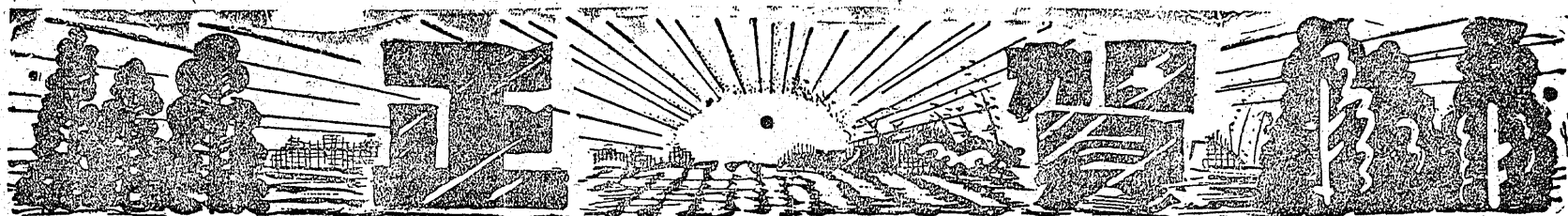




<p>佐々木龍若 平町四間町</p>	<p>飯野村長 伊藤淺之助</p>	<p>鋸製造ヤスリ販賣 中屋長三郎 綠川喜三郎 福島縣平町搔樋小路 振替仙台三六〇三番</p>	<p>有限責任 信用組合 平庶民金庫 福島縣石城郡平町十五丁目二五</p>	<p>平町長 伏見彦衛</p>	<p>和洋銅鐵 金物問屋 釜屋商店 平町五丁目 電話 九番 一三九番</p>
<p>警城建物株式會社 取締役 支配人 井上貞治郎</p>	<p>松本德一 石城郡平窪村</p>	<p>關内正一 平町二丁目</p>	<p>山崎登 石城郡錦村</p>	<p>石城銀行組合</p>	
<p>原齒科醫院 平町土橋 電話三一三番</p>	<p>新古麻袋賣買、セメント 用袋製造 山田麻袋商店 福島縣石城郡内郷村字境新 町平公園下電話(七三三番) (二六二番)</p>	<p>西洋御料理 一の井 田町 電話一六七番</p>	<p>平町水道課長 香野利一</p>	<p>吉村四郎 平町研町 電話四〇六番</p>	<p>平町二丁目 西村屋藥舖 電話、三番</p>
<p>住友生命保險平事務所 主任 福島寬利</p>	<p>吉村綿店 平町研町 電話二五七番</p>	<p>平町 西洋料理屋 組</p>	<p>石城郡第三區 小學校長會</p>	<p>石城郡第二區 教事務協議會</p>	<p>平町公私立 學校長懇和會</p>
<p>木材石油鑛油各種油販賣 檜田榮太郎 警城國平材木町八 電話長二四八番 電略(クシ)又(ハク)</p>	<p>美術工藝部 大音堂看板店 鹽田勝治郎 平町四丁目</p>	<p>諸橋吳服店 平町新川町 電話特長五〇</p>	<p>醫療藥品工業藥品有名賣藥 洋酒罐詰染料塗料壁用材料 關内藥舖 藥劑師 關内 榮助 福島縣平町四丁目 電話四〇番 振替仙台三六六番</p>	<p>坂本紙店 平町一丁目 電話一八番</p>	<p>株式百澤商店 平町四丁目 電話一二番</p>

正  
電話三五九番  
平町六丁目  
電話三〇九番  
電話二七三番  
平町研町  
電話六三九番

賀



<p>矢吹醫院 矢吹 大輔 電話二六六番</p>	<p>鈴木眼科醫院 鈴木 亮 電話四三八番</p>	<p>吉田眼科醫院 吉田 安雄 電話六八番</p>	<p>藤沼醫院 藤沼 平次郎 電話五〇七番</p>	<p>大勇醫院 大 森 勇 電話二五八番</p>	<p>酒井醫院 酒井 國三郎 電話五五番</p>	<p>大和田耳鼻科醫院 大和田 郡司 電話一七〇番</p>	<p>松村醫院 松村 鐵郎 電話一〇七番</p>	<p>星眼科醫院 星 恒 明 電話四七一番</p>	<p>金成醫院 金 成 忠 義 電話三五八番</p>	<p>根本產婦人科醫院 根本 莊次郎 電話三四番</p>
<p>衆議員 議員 木村 清治</p>	<p>縣議員 山崎 吉平</p>	<p>縣議員 古川 傳一</p>	<p>縣議員 鈴木辰三郎</p>	<p>阿部政右衛門 平町搔槌小路 電話四五八番</p>	<p>東部電力株式會社 平營業所 福島縣石城郡平町五丁目</p>	<p>小野 晋平 石城郡小名濱町</p>				
<p>小田炭礦株式會社 萩原鑛業所</p>	<p>古河炭礦 好間鑛業所</p>	<p>石城郡山田村 安島 重三郎</p>	<p>雜貨物 大一屋商店 石城郡平町 電話十三番</p>	<p>平藝妓屋組合</p>	<p>平料理屋組合</p>					
<p>小田 吉次 石城郡好間村</p>	<p>西洋料理 カフエー 松ヶ岡 平町公園前</p>	<p>青木寫眞館 平町南町公會堂前 電話四二二番</p>	<p>住吉屋 セメント商店 酒井伴城</p>	<p>磐城平驛前 つたや旅館 柏木 勝利 電話三二番</p>	<p>和洋銅鐵度量衡 坂田 藤助 磐城平町二丁目 電話一二八番</p>					
<p>關內精米所 平町長橋町 電話八一〇番</p>	<p>植田町 磐城無盡商會</p>	<p>食道樂 大 貞 電話四一三番</p>	<p>湯本無盡株式會社 信用 福島縣石城郡湯本町 電話四七番 振替仙台七九六四番</p>	<p>定 價 一 部 金 二 錢 一 夕 月 三 十 錢 郵 稅 五 厘 發 行 料 五 號 十 二 字 詰 一 行 五 十 錢</p>						

